

トレイルが繋ぐ
人との出会いを
これからも

ささき れいこ
佐々木 麗子 さん

昭和27年、岩手県大槌町生まれ。
きのこの家の発案・管理のかたわら、自身のSNSや
職場からトレイルの情報提供を行う。

震災後の2013年、夫と一緒に8年ぶりに県外から山田町に戻ってきました。みちのく潮風トレイルのことは知っていて、歩いてみたいというのも戻ってきた理由の1つでした。

2014年から歩き始め、青森を歩いている時のこと。電車を待っていると近くに住む方に声をかけられ、待ち時間が長いから、と家に上がらせてくれたことがありました。他の地域でも地元の方が声をかけてくれ、そういった人との交流や繋がりができたことが嬉しくて、心から「いいなあ」と感じました。自分も地元で何かできないかと考え、仲間を集めて知り合いの建物をハイカーの休憩所にしました。それがきのこの家です。この休憩所はトレイルを歩いた経験や思い出があったからこそできたもの。私が元気である限りは続けていきたいです。

ハイカーと交流することが楽しくて、SNSを使って情報発信もしています。トレイルエンジェル達との情報交換も楽しいです。現在勤めている職場ではハイカーに出会える環境にあるので、つい、トレイルの話をしてしまいます。

初めて会った人なのに、話しているうちに昔からの知人のような懐かしい感覚になるんです。あるハイカーは船越が好きになり、全線踏破した後に会いに来てくれたことがありました。一度出会ったハイカーが「また来たよ」と声をかけてくれるのが本当に嬉しいです。ハイカーやトレイルエンジェル達には「あなた達から元気をもらってるよ！」と伝えたいです。



椎茸の乾燥に使われていた建物なので「きのこの家」。
現在は佐々木さんご夫婦で清掃などの管理を行っています。